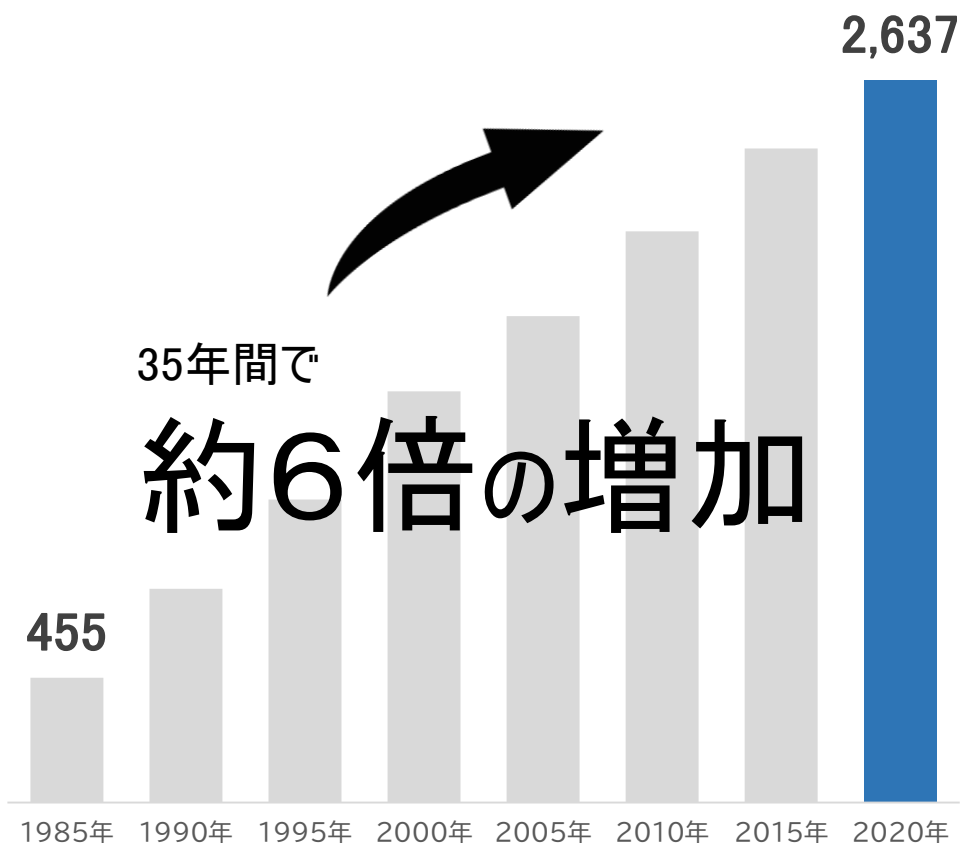


令和4年度  
慢性腎臓病（CKD）診療連携構築  
モデル事業 報告

岐阜県健康福祉部保健医療課

# 岐阜県における慢性腎臓病対策の課題

岐阜県の透析患者数の推移(人口100万対)



出典:わが国の慢性透析療法の現況(人口100万対)

人口

1,946千人 (R4)

高齢化率

12.7% (H2) ▶ 30.5%(R5)

出典:岐阜県統計課

糖尿病総患者数

41千人 (H14) ▶ 76千人(R2)

高血圧性疾患総患者数

121千人 (H14) ▶ 290千人(R2)

出典:患者調査

岐阜県の腎臓専門医数

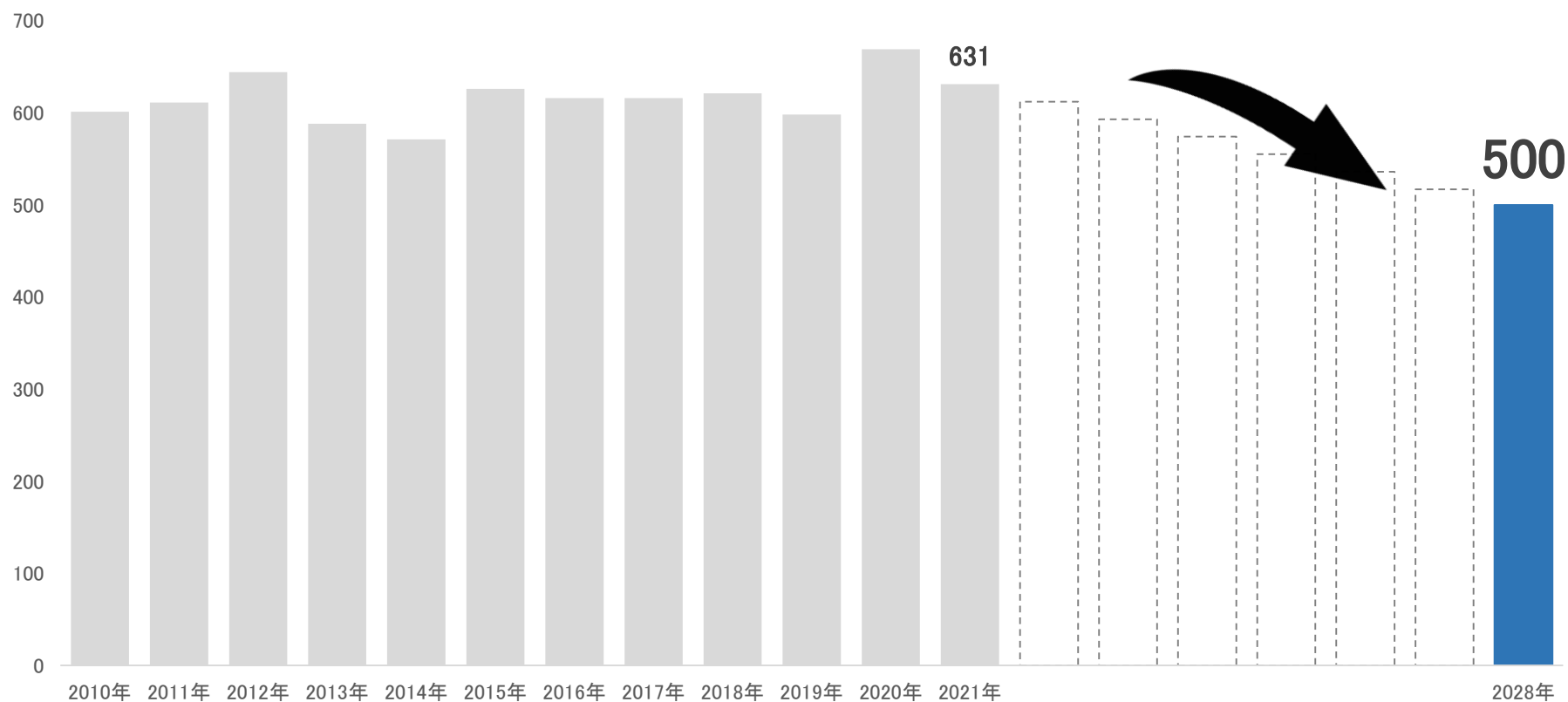
59人(人口10万対30.3人、全国6番目に少ない)

出典:一般社団法人日本腎臓病学会

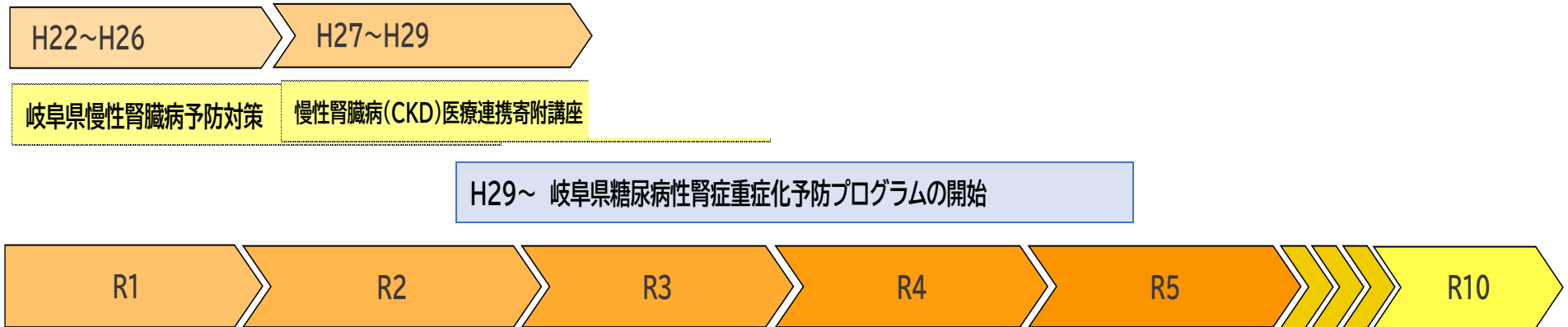
# 岐阜県における慢性腎臓病対策の目標

- i. 2028年までに、年間新規透析導入患者数を500人以下に減少させる
- ii. 慢性腎臓病の進行や心血管疾患発症及び死亡リスクを抑制する

岐阜県の新規透析患者数の推移(人)

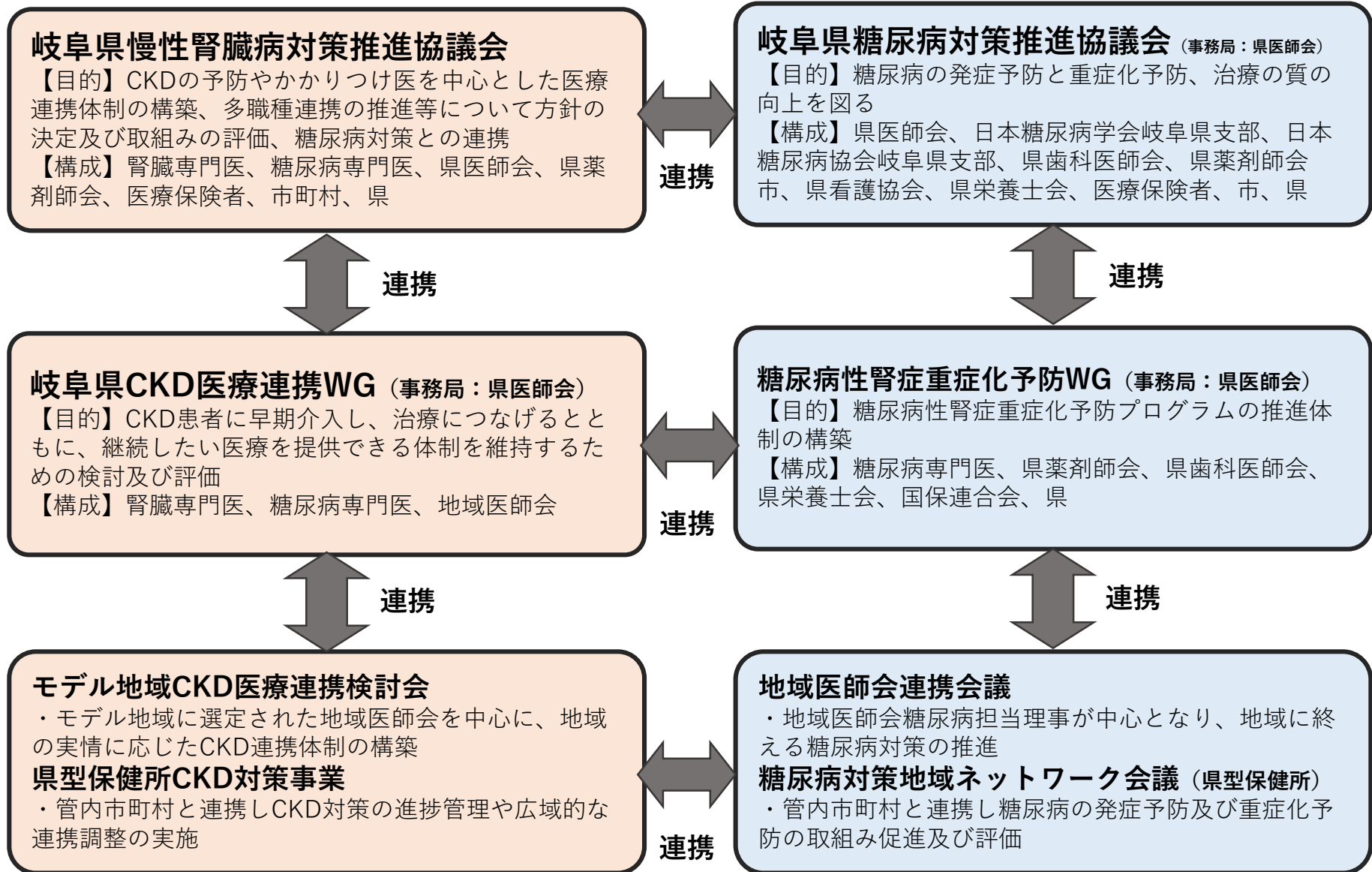


# 岐阜県における慢性腎臓病対策の取組み経過



|                               |                                |                                     |                                     |                 |   |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------|---|
| 現状と課題の整理                      | 連携の在り方の検討<br>腎対策への理解促進         | CKD対策の周知<br>及び実践                    | CKD医療連携の拡大<br>モデル地域での実践             | 全ての地域で腎対策を推進    | 年間新規透析導入者<br>500人以下の達成<br>CKDを知っている県民の増加<br>(50%以上) |
| ○岐阜県におけるCKD対策の課題<br>の明確化      | ○かかりつけ医から腎臓診療医<br>への連携方法の具体化   | ○CKD連携ツールの作成と普及                     | ○CKD連携ツールの活用促進                      | ○全圏域でCKD連携基準の運用 |   |
| ○CKD対策の重要性及び<br>対策の方針に関する合意形成 | ○健診を軸とした連携に関する<br>具体化          | ○地域医師会CKD担当理事選出                     | ○医師・コメディカルへの研修会<br>(慢性腎臓病に関する知識の習得) | ○好事例の水平展開       | <b>医療連携体制の構築</b>                                    |
|                               | ○医師・コメディカルへの研修会<br>(腎対策への理解促進) | ○医師・コメディカルへの研修会<br>(慢性腎臓病に関する知識の習得) | ○保健師等への健診による抽出<br>基準の周知             |                 | <b>人材育成</b>   |
| 岐阜県慢性腎臓病対策<br>推進協議会の設置        | 岐阜県CKD医療連携<br>ワーキンググループの設置     | ○県民公開講座の開催<br>(オンデマンド配信)            | ○県民への啓発                             |                 | <b>普及啓発</b>   |

# 岐阜県における慢性腎臓病対策～連携体制～



# 岐阜県における慢性腎臓病対策 ～取組内容～

## 普及啓発

### ○県民公開講座の開催（参加者150名）

- 講演「元気に長生きするためにできること～高血圧との向き合い方～」（浜松医科大学 名誉教授 菱田明先生）
- 講演「今日からできる減塩～減塩食品の選び方、使い方～」（日本高血圧学会減塩・栄養委員会アドバイザー 野村善博先生）

### ○新聞広告、県公式SNS等による情報発信



## 人材育成

### ○県民公開講座の開催（参加者150名）

- 講演「よりよいCKD診療連携を目指して～これからのCKD対策を考える～」（浜松医科大学 名誉教授 菱田明先生）

### ○かかりつけ医のためのCKDセミナーの開催（県医師会委託事業）

## 診療連携体制の構築

### ○地域の実情に応じた連携体制の構築（県医師会委託事業）

岐阜県慢性腎臓病医療連携フロー・GFRグラフの活用による連携の促進

- ・県内すべての地域で連携フローに沿ったCKD対策の推進
- ・各地域医師会よりCKD担当理事の選任

CKD連携シールの活用促進

- ・病院調剤薬剤師会からの積極的な活用

モデル地域での自主的かつ主体的なCKD対策の実践、効果検証

- ・県内4地域をモデル地域として指定し、地域特性に応じた連携体制の構築  
水平展開

じんぞう  
**守ろう腎臓!** 自分の腎臓の機能は何色?

腎臓は、血液をろ過して尿を作り、老廃物を排泄したり、ミネラルなどのバランスを調整したり、血液を作り出すホルモンを分泌したりと大切な役割を持つ臓器です。自分の腎臓を守る、管理するために、腎臓シールを活用しましょう。

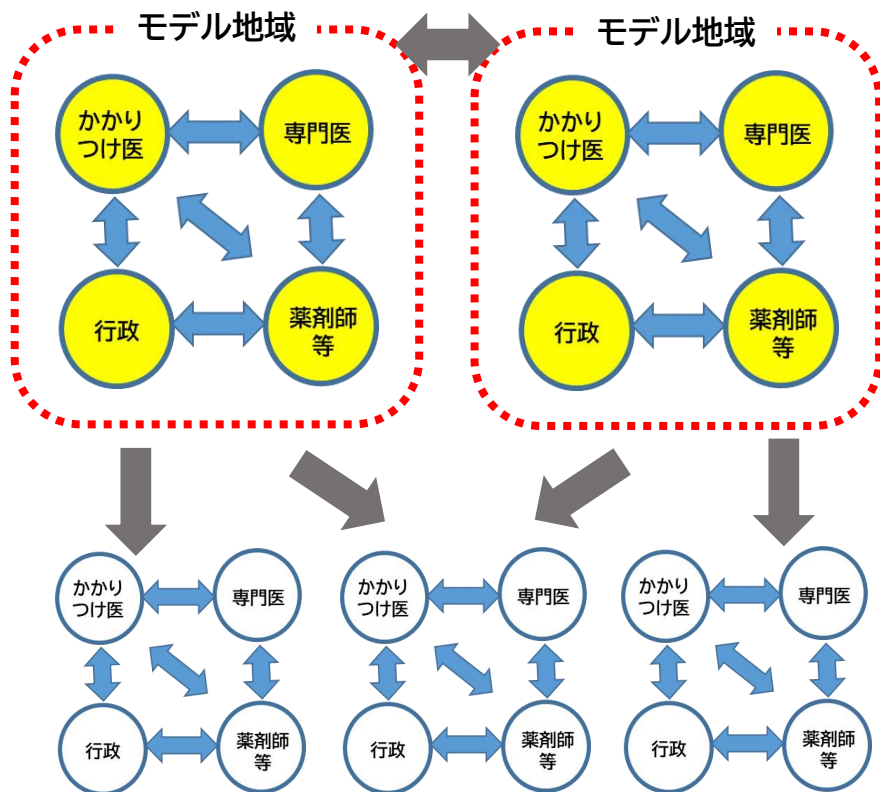
腎臓は悪くなくても症状が出にくい臓器です。定期的な検査を受けましょう。

岐阜県・岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| <br>腎臓を大切に! | <br>腎臓を大切に! | <br>腎臓を大切に! | <br>腎臓を大切に! |
| GFR 60以上<br>正常または軽度低下  | GFR 45-59<br>軽度～中等度低下  | GFR 30-44<br>中等度～高度低下  | GFR 30未満<br>高度低下～末期腎不全   |

良い状態 → 右に行くほど、腎臓の機能が低下していきす → 注意

# 岐阜県における慢性腎臓病対策 ～モデル地域の取組～



※モデル地域以外  
マニュアルや連携媒体を用いた連携の実施

## ① 1 医師会、1 市地域の取組

各務原市医師会(各務原市)

たけうち内科 竹内先生

『かがみはらCKD対策ネット』の立ち上げ

- ・医師会:CKD協力医への登録
- ・薬剤師会:じんぞうシールの活用、薬剤指導の実施
- ・行政:市民啓発、特定保健指導の実施

多治見市医師会(多治見市)

中央クリニック 藤城先生

『多治見市CKD医療連携推進事業検討会議』の開催

## ② 1 医師会、複数市町村での取組

もとす医師会(瑞穂市、本巣市、北方町)

サンシャインM&Dクリニック 伊藤先生

『もとす地区CKD重症化予防のための  
患者指導・医療連携勉強会』の開催

恵那医師会(恵那市、中津川市)

恵那医院 古栄先生

『中津川・恵那地域糖尿病性腎症重症化予防プログラム  
連絡会議、行政ワーキングチーム会議』の開催  
『症例検討会』の開催、